

第三回JMTXウェビナー:

「気づいていないかもしれない家庭内モラハラとDV ～良い関係を続けるために、本当に困ったときのために 知っておきたいこと～」 報告レポート



JMTX(日本テキサス医学振興会)は、ヒューストンを中心としたアメリカの在住邦人に医療情報や日本人医師ネットワークを提供し、適切な医療を受けられるようにすることを趣旨として活動しています。今回「気づいていないかもしれない家庭内モラハラとDV～良い関係を続けるために、本当に困ったときのために知っておきたいこと～」をテーマに第三回のウェビナーを開催しましたのでご報告致します。



▲第三回ウェビナーQ&Aセッション

上段左より八木謙一弁護士(講師・JMTX)、茨木榮梨医師(JMTX)、生駒成彦医師(司会進行・JMTX)

中段左よりタランゴ瑤子氏(Asians Against Domestic Abuse(AADA) Women's Wellness Program Coordinator)、小島理絵氏((テキサス州公認カウンセラー)、兒子真之医師(JMTX)

下段左より福田由梨子医師(JMTX)、松木隆志医師(精神科医)

はじめにタランゴ瑤子さんより、在米邦人のDVの実情についてお話頂きました。DVは年々増加傾向にあり、女性からの相談件数が圧倒的に多いのが現状です。DVというと身体的な暴力が目目されがちですが、ののしったり馬鹿にしたりする精神的DV、自由に使えるお金を与えなかったり働くことを制限する経済的DV、交友関係を制限したりGPSを使って行動を監視する社会DVも大きな問題です。また、子供の前でDVが行われる「面前DV」については、DVを目撃した子供は家庭内暴力や不登校、うつになるリスクが高く、軽視されがちな子供への影響を再認識することができました。また、DVで悩む人からもし相談を受けた場合、決して「うちも似たようなことあるよ」「そんなこと気にしていたら夫婦はやっていけないよ」など勇気を持って相談してくれた方を追い詰める発言をせず、専門家への相談をすすめることの重要性もお話頂きました。普段多くの相談者と接し、お話を聞いている経験をもとにしたタランゴさんの講演はとてもリアルで、勉強になる内容でした。

続いて、小島理絵さんよりDVに悩む方へのカウンセリングについてお話頂きました。日本人にとってあまりなじみのないカウンセリングですが、話を聞くトレーニングを受けた専門家が中立の立場で話を受け入れてくれるため、本人の気持ちに焦点を当てることができるのが大きなメリットです。自分のつらさを吐き出すことで、自分がどう生きていきたいのか理解し、生きづらさの原因となっている症状を改善することができます。「体がつらい時にお医者さんに行くように、心がつらい時は専門家と一緒に心の傷を癒しましょう」という言葉が印象的であり、悩んでいる方が一歩を踏み出す後押しになる講演だったのではないのでしょうか。

注目したい種類のDVその2 面前DV



【DV面前の例】

- ・親→親 銃を見せる(ここにあるよ、と脅す)
- ・物を投げる
- ・言葉で脅す
- ・家具を壊す
- ・子供 親のケンカの様子を見る
- ・荒れた家を片付ける

【相談先】

- ・スクールカウンセラー
- ・子ども専門カウンセラー
- ・スクールナース etc.

面前DVについて知ってください(動画)

足立区ホームページ
面前DVリーフレット
<https://www.city.adachi.tokyo.jp/kodomo-genki/menzendv/20230515.html>

▲発表スライドより「面前DVの子供への影響」

次に松木隆志医師よりDVに苦しむ方のための治療について講演がありました。DV被害を受けた際、ほぼ全員がPTSD(心的外傷後ストレス障害)を患っているにも関わらず、治療につながる方は非常に少ないのが現状です。また、治療に抵抗がある方が多いですが、薬物療法には多くの種類があり、医師と相談して上手に使うことで安全安心に使えるとのことですので、治療へのハードルが下がった方もいらしたのではないのでしょうか。

最後に、八木謙一弁護士からDVの法律についての講演がありました。DVを受けた場合には、警察に通報し、記録(日時や場所、可能であれば録音・録画)を残すことが大切です。また、保護命令(Protective Order)を申請することにより、加害者は暴力行為や接近などが禁止され、拳銃保持のライセンス一時停止などのペナルティも課されます。尚、ハーグ条約(子供の連れ去りに関する国際条約)の紹介があり、DVを理由とした相手の同意のない帰国は犯罪となります。これは駐在であっても適用されるため、知識として知っておく必要がある点かと思いました。

今回のウェビナーは約80名の方にご参加頂きました。匿名での参加も可能であり、人知れず悩んでいる方にとっても大変有意義な情報が多かったのではないかと思います。

ウェビナーの録画とスライド、Q&Aは[JMTXのホームページ](#)に掲載しております。また、同ホームページの医療情報欄にも、より詳しい医療情報が掲載された医療ハンドブックやお勧めクリニックリスト、日本語が通じる医療従事者リストが掲載されていますので、ぜひご覧ください。

(JMTX理事 茨木榮梨)

免責事項: JMTXウェビナー及びこの報告レポートは情報提供が目的ですので、これらを理由に専門家の医学的な助言を軽視したり助言の入手を遅らせたりすることがないようにご注意ください。担当者は資料作成にはできる限り正確に記載するよう努めていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。これらの内容に関連して、不利益を被る事態が生じたとしても、講演者及び日本テキサス医学振興会関係者は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。なお、これらは個人の見解であり各関係者が所属する組織の見解ではありません。